▲　今年もきれいに咲いていました　鮎川家の蓮　　（8月3日撮影）

慧光

金光寺寺報
第２６５号
発行所　金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
５９２７番地
☎ ０９８２
８３－２３３８

今月のことば　法語カレンダー

われもたすかり　人もたすかるというのが　仏教の教え

曽我量深

私たち凡夫は自らの力で往生の種を作ることはできず、あらゆるものの救済を誓われた阿弥陀さまのご本願により、われも人も救われていくということを述べられたことばです。

阿弥陀さまは、煩悩にまみれた凡夫であるこの私をなんとしても救いたいと、立ち上がってくださいました。そして、「必ず救う。まかせてくれよ」と、南無阿弥陀仏のお念仏となって喚び続けてくださっています。曽我先生が強調されていた、「私たちは阿弥陀さまに願われたいのちを生きている」とは、阿弥陀さまのご本願を聞き、阿弥陀さまを中心とした生活をさせていただくということにほかなりません。

日々の暮らしのなかでなにか嬉しいことがあったとき、お仏壇で阿弥陀さまにご報告すれば、「私も一緒に喜んでいますよ」と阿弥陀さまも一緒に喜んでくださいます。「こんな辛いことがあったのに、この悲しみを誰もわかってくれません」とご相談すれば、「私はあなたの悲しみをわかっておりますよ」と一緒に泣いてくださいます。いつでもどこでも、南無阿弥陀仏というお念仏を通して阿弥陀さまからの「いつでも一緒ですよ」というお慈悲の声が、この私に届き続けてくださっています。

「願われたいのちを生きる」ということは、「我もたすかり人もたすかる」というその阿弥陀さまのご本願を、人生を通して仰ぎ続け、たとえこの身が老いや病によってどのようになろうとも、私は阿弥陀さまのお救いのなかにあるのだと、感謝の内にお念仏申して生きていくことをいうのでしょう。

（本願寺出版社刊「大乗」誌掲載
『月々のことば』より抜粋　転載）

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

◎　８月
　２４日　（終日）
◎　９月
　７日　（終日）
　１８日　（終日）
　２３日　（午前）

７月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

２０２３年　７月　４日満５７歳
揚　水田　敏秋　様
２０２３年　７月１６日満９３歳
道ノ上　永野　ツタエ　様
２０２３年　６月１７日　満９歳
山都町　藤本　あかり　様

鞍岡・７月の天候　（アメダス）
最低気温・１６．７℃（　６日）
最高気温・３３．６℃（　６日）
夏日日数・　１５日/３１日
真夏日日数・　４日/３１日
月間総雨量・320.5mm(降雨日数・16日)
一日最大雨量・１７９．５mm（３日）

ホームページ開いています。
URL　https://konkouji.jp/
８月９日現在アクセス数　146,368人

金光寺のひと月

七月

一日　由良田信久様　五・七日忌
山本悦子様　一周忌
二日　西田今朝一様　満中陰・納骨
三日　当山前坊守釋妙順　月忌
四日　竹森　満様　十三回忌
五日　田中ヒサエ様　二十五回忌
六日　田中義雄様　三・七日忌
興梠恒文様　満中陰・納骨
八日　由良田信久様　六・七日忌
森田フジエ様　十三回忌
岩野カズネ様　五十回忌
野田浪子様　納骨坊守
九日　松永　泉様　二十五回忌
十日　山門・本堂内陣文化財調査
十一日　内陣右・左余間壁（三方）金紙貼り
巻障子紗張替え持ち帰り
十三日　田中義雄様　四・七日忌
十六日　尾前ユキノ様　十七回忌
水田敏秋様　通夜
十七日　水田敏秋様　葬儀、火葬
水田敏秋様　初・七日忌
十八日　当山前住職釋依章　月忌
永野ツタエ様　臨終勤行
十九日　永野ツタエ様　通夜
二十日　田中義雄様　五・七日忌
永野ツタエ様　葬儀、火葬
永野ツタエ様　還骨
二十一日　永野ツタエ様　初・七日忌
永野ツタエ様　礼参り
二十二日　市村住義様　一周忌
二十三日　梅田今朝晴様　十三回忌
黒木為義様　十三回忌
二十四日　永野ツタエ様　初・七日忌
田中光徳様　三回忌
田中美智子様　十三回忌
二十五日　渡邊ハマ子様　十三回忌
二十七日　田中義雄様　六・七日忌
十四区寺報配布
二十八日　第二回宮崎教区組長会
二十九日　藤本あかり様　中陰
三十一日　松岡春子様　三回忌

（二十五日から二十八日まで境内地にフェンス設置工事を行いました。
また、二十四日から向拝と山門から本堂へ向かう参道に敷石敷設工事を始めました。こちらは現在進行中です。）

住職ひとりごと

「ＮＨＫ朝の連続テレビ小説「らんまん」を毎日楽しく見ています。最初は「主人公が男性っぽくてありなの？」と思ったが、そんな偏見、いや、時代でしょう。今の時代、女性だけで公人でもつとめてしまったのでしょう。

「園ちゃん」が亡くなった後、二日間（？）の放送は笑顔が見れず残念でした。今後の九月末までは大笑顔が見られるのですが、浜辺美波ちゃんです。彼女は大好きで、デレデレしながら、私は癒されました。

展開はどうなるのでしょうか。

事の出演者イチオシ。

「雑草」という名の草は次から次へと生えてくるのでは？

「いろんなことがあります。

「なんでこんなに私、反省させられたこと。これからも草引きをしなければならず、「雑草」という言葉を見ながら記す。八月九日、台風六号へ…。（住職　松井卓郎）

▲　今年もきれいに咲いていました　鮎川家の蓮　　（8月3日撮影）

慧光

金光寺寺報
第２６５号
発行所　金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
５９２７番地
☎ ０９８２
８３－２３３８

今月のことば　法語カレンダー

われもたすかり　人もたすかるというのが　仏教の教え

曽我量深

私たち凡夫は自らの力で往生の種を作ることはできず、あらゆるものの救済を誓われた阿弥陀さまのご本願により、われも人も救われていくということを述べられたことばです。

阿弥陀さまは、煩悩にまみれた凡夫であるこの私をなんとしても救いたいと、立ち上がってくださいました。そして、「必ず救う。まかせてくれよ」と、南無阿弥陀仏のお念仏となって喚び続けてくださっています。曽我先生が強調されていた、「私たちは阿弥陀さまに願われたいのちを生きている」とは、阿弥陀さまのご本願を聞き、阿弥陀さまを中心とした生活をさせていただくということにほかなりません。

日々の暮らしのなかでなにか嬉しいことがあったとき、お仏壇で阿弥陀さまにご報告すれば、「私も一緒に喜んでいますよ」と阿弥陀さまも一緒に喜んでくださいます。「こんな辛いことがあったのに、この悲しみを誰もわかってくれません」とご相談すれば、「私はあなたの悲しみをわかっておりますよ」と一緒に泣いてくださいます。いつでもどこでも、南無阿弥陀仏というお念仏を通して阿弥陀さまからの「いつでも一緒ですよ」というお慈悲の声が、この私に届き続けてくださっています。

「願われたいのちを生きる」ということは、「我もたすかり人もたすかる」というその阿弥陀さまのご本願を、人生を通して仰ぎ続け、たとえこの身が老いや病によってどのようになろうとも、私は阿弥陀さまのお救いのなかにあるのだと、感謝の内にお念仏申して生きていくことをいうのでしょう。

（本願寺出版社刊「大乗」誌掲載
『月々のことば』より抜粋　転載）

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。

◎　８月
　２４日　（終日）
◎　９月
　７日　（終日）
　１８日　（終日）
　２３日　（午前）

７月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

２０２３年　７月　４日満５７歳
揚　水田　敏秋　様
２０２３年　７月１６日満９３歳
道ノ上　永野　ツタエ　様
２０２３年　６月１７日　満９歳
山都町　藤本　あかり　様

鞍岡・７月の天候　（アメダス）
最低気温・１６．７℃（　６日）
最高気温・３３．６℃（　６日）
夏日日数・　１５日/３１日
真夏日日数・　４日/３１日
月間総雨量・320.5mm(降雨日数・16日)
一日最大雨量・１７９．５mm（３日）

ホームページ開いています。
URL　https://konkouji.jp/
８月９日現在アクセス数　146,368人

金光寺のひと月

七月

一日　由良田信久様　五・七日忌
山本悦子様　一周忌
二日　西田今朝一様　満中陰・納骨
三日　当山前坊守釋妙順　月忌
四日　竹森　満様　十三回忌
五日　田中ヒサエ様　二十五回忌
六日　田中義雄様　三・七日忌
興梠恒文様　満中陰・納骨
八日　由良田信久様　六・七日忌
森田フジエ様　十三回忌
岩野カズネ様　五十回忌
野田浪子様　納骨坊守
九日　松永　泉様　二十五回忌
十日　山門・本堂内陣文化財調査
十一日　内陣右・左余間壁（三方）金紙貼り
巻障子紗張替え持ち帰り
十三日　田中義雄様　四・七日忌
十六日　尾前ユキノ様　十七回忌
水田敏秋様　通夜
十七日　水田敏秋様　葬儀、火葬
水田敏秋様　初・七日忌
十八日　当山前住職釋依章　月忌
永野ツタエ様　臨終勤行
十九日　永野ツタエ様　通夜
二十日　田中義雄様　五・七日忌
永野ツタエ様　葬儀、火葬
永野ツタエ様　還骨
二十一日　永野ツタエ様　初・七日忌
永野ツタエ様　礼参り
二十二日　市村住義様　一周忌
二十三日　梅田今朝晴様　十三回忌
黒木為義様　十三回忌
二十四日　永野ツタエ様　初・七日忌
田中光徳様　三回忌
田中美智子様　十三回忌
二十五日　渡邊ハマ子様　十三回忌
二十七日　田中義雄様　六・七日忌
十四区寺報配布
二十八日　第二回宮崎教区組長会
二十九日　藤本あかり様　中陰
三十一日　松岡春子様　三回忌

（二十五日から二十八日まで境内地にフェンス設置工事を行いました。
また、二十四日から向拝と山門から本堂へ向かう参道に敷石敷設工事を始めました。こちらは現在進行中です。）

住職ひとりごと

「ＮＨＫ朝の連続テレビ小説「らんまん」を毎日楽しく見ています。最初は「主人公が男性っぽくてありなの？」と思ったが、そんな偏見、いや、時代でしょう。今の時代、女性だけで公人でもつとめてしまったのでしょう。

「園ちゃん」が亡くなった後、二日間（？）の放送は笑顔が見れず残念でした。今後の九月末までは大笑顔が見られるのですが、浜辺美波ちゃんです。彼女は大好きで、デレデレしながら、私は癒されました。

展開はどうなるのでしょうか。

事の出演者イチオシ。

「雑草」という名の草は次から次へと生えてくるのでは？

「いろんなことがあります。

「なんでこんなに私、反省させられたこと。これからも草引きをしなければならず、「雑草」という言葉を見ながら記す。八月九日、台風六号へ…。（住職　松井卓郎）